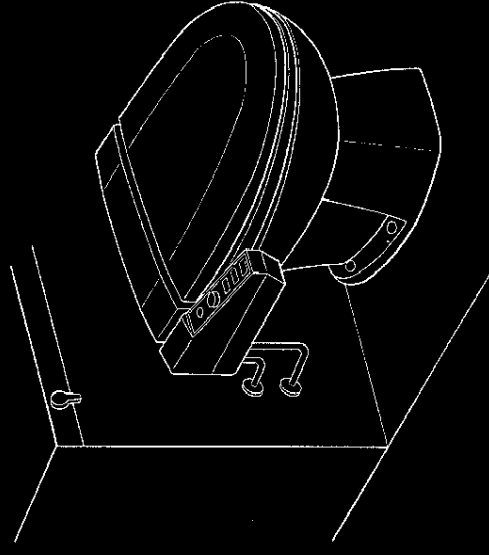


商品のお問合せはTOTOお客様相談室へ
0120-03-1010
受付時間9:00～17:30(土・日・祝日を除く)

TOTO

施工説明書



も く し	
1 はじめに・安全のために	7～24
2 製品の確認	7～12
3 仕様	13～18
4 設置完成図	19～24
5 取り付け方法	25～27
6 試運転	28～30

1 はじめに・安全のために

1) 製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

2) ユニットバスタイプによって取付けるウォシュレットが異なります。

取付けに当たっては、2 ページのウォシュレットUXII取付け一覽表をご確認の上、工事を行ってください。

* ユニットバス1室に対し、ウォシュレットは部材が2梱包に分かれています。

梱包箱 1 (TN54-6Rほか)……ウォシュレットに接続する連結管

梱包箱 2 (TCF510Rほか)……ウォシュレット本体

3) 使用方法ラベルについては、ホテル側と十分確認を行い指示された場所に正しく張付けてください。
また、取扱説明書については、ホテル側へお渡し願います。

安全上の注意



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

1. 中水道や工業用水の水運に接続しないでください。
(皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。)



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

1. 連結管を折曲げたり、つぶしたりしないでください。
(漏水するおそれがあります。)

ウォシュレットUXII取付け一覽表

UBタイプ	ウォシュレット		ウォシュレットUXII本体										運 結 管		
	UBの勝手		エロンゲートサイズ					レギュラーサイズ						新設現場の場合 TN54-6R 既設現場の場合 TN54-8R	
	UBタイプ	UBの勝手	TCF 511R	TCF 510R	TCF 510L	TCF 510ER	TCF 510EL	分岐金具メッキ付	分岐金具メッキなし	TCF 510R	TCF 510L	TCF 510ER			TCF 510EL
EGM 1624 1620	R	○	○												TN54-6R
	L														
	R														
EHM 1116B 1115B 1014B	R														TN54-6R
	L														
	R														
EHS 1116 1115 1014	R														TN54-7R
	L														
	R														
EHW 1116S 1115S 1014S	R														TN54-8R
	L														
	R														
ERK 1620 (M/P)	R	○	○												TN54-8R
	L														
	R														
ERZ 1418 1218	R														TN54-8R
	L														
	R														
ERZ 1218 (M/P) 注	R														TN54-8R
	L														
	R														
ERG 1620D (M/P)	R	○	○												TN54-8R
	L														
	R														
EHK 1418(A) 1218(A)	R										○				TN54-6R TN54-7R
	L														
	R														
ERG 1418D 1218D	R										○				TN54-8R
	L														
	R														
ERG 1418M 1218M	R										○				TN54-8R
	L														
	R														
ERZ 1216 (M/P)	R											○			TN54-7R
	L														
	R														
EHR 1116 1115	R														TN54-7R
	L														
	R														
EHN 1216A (M/P)	R														TN54-7R
	L														
	R														
ERG 1216M (M/P)	R											○			TN54-7R
	L														
	R														
EKW 1116S (M/P)	R														TN54-7R
	L														
	R														

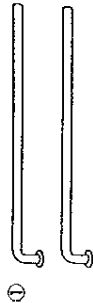
注) EHN(M)のBタイプ、EHSおよびEHW(C)、EKW(C)の既設UBに対しては、配管工事がで

取付方法(便器の後ろにカウンタがない場合の取付け)

(フルエフロン式の場合の取付け)

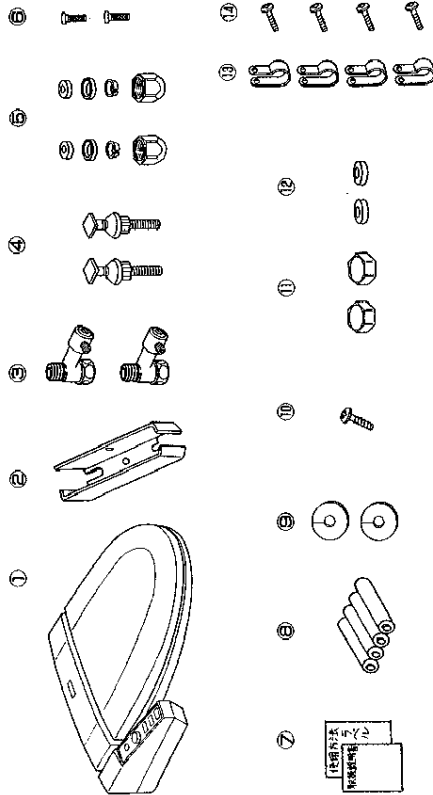
2 部品の確認

① 梱包箱 1 より商品を取り出し、次の部品があることを確認してください。



No.	部品名称
①	連結管 (2本)

② 梱包箱 2 (TCF510R-L、510ER-E-L、及びTCF511R-L) より商品を取り出し、次の部品があることを確認してください。



(注)
TCF511の
適合品のみ同梱

No.	部品名称	No.	部品名称
①	ウォッシュレット本体	②	乾電池 (単3×4個)
②	下ケース	③	フッシュ (2個)
③	分岐金具 (2個)	④	下ケース固定用ねじ (1本)
④	取付ボルト (2個)	⑤	分岐金具用ふさぎふた (2個)
⑤	パッキン、パッキンガイド テーパリング、袋ナット (各2個)	⑥	ゴムパッキン (2個)
⑥	ストレーナ (2個)	⑦	クランプ (4個)
⑦	取扱説明書、使用方法ラベル	⑧	クランプ固定用ねじ (4本)

3 仕様

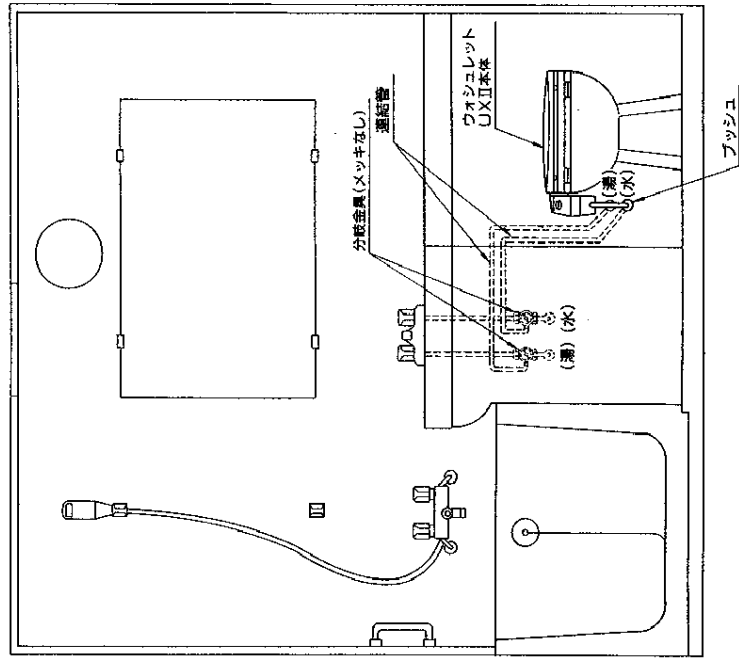
項目	内容	容量
定格	DC6V (単三形アルカリ乾電池4個)	
電池寿命 (20°C時)	アルカリ乾電池使用時 約1,000回 ※室温、乾電池の種類及び使用頻度により異なります。 ※製品には動作確認用としてアルカリ乾電池を同梱していません。	
機能	おしり洗浄・ビデ洗浄	
洗浄装置	吐水量	おしり洗浄 吐水量調節範囲0.4~1.3ℓ/min (給湯圧0.19MPa(2.0kgf/cm ²)のとき) ビデ洗浄 吐水量調節範囲0.4~2.0ℓ/min (給湯圧0.19MPa(2.0kgf/cm ²)のとき)
	洗浄ノズル	φ0.9×3穴
	吐水量	φ1.2×5穴
	吐水温度	標準37.5°C
湯水混合方式	サーモスタットバルブ方式	
安全装置	温度センサー検知によるコントローラ制御	
使用水	上水	
使用条件	最低必要給湯圧力	88.0kPa (0.7kgf/cm ²) (給湯圧 ≤ 給湯圧)
	最高給湯圧力	0.588MPa (6.0kgf/cm ²) (給湯圧 ≤ 給湯圧)
	給湯温度	0~35°C
	給湯温度	45~70°C
その他	設置ユニット	換気機能付ユニット
	着座スイッチ	マイクロスイッチ (荷重式)
製品寸法	給湯温度チェッカー	着座検知による自動冷水排水方式
	電池切れ予告表示	準備中ランプ点滅表示 (赤色)
	標準 (レギュラーサイズ)	幅46cm 奥行50cm 高さ18cm
大型 (エロンゲートサイズ)	幅46cm 奥行59cm 高さ19cm	
製品質量	7.5kg	

取付方法 (便器の後より) は、入ターがなり場合の取付仕
(入ターの下の場合の取付仕)

4 設置完成図

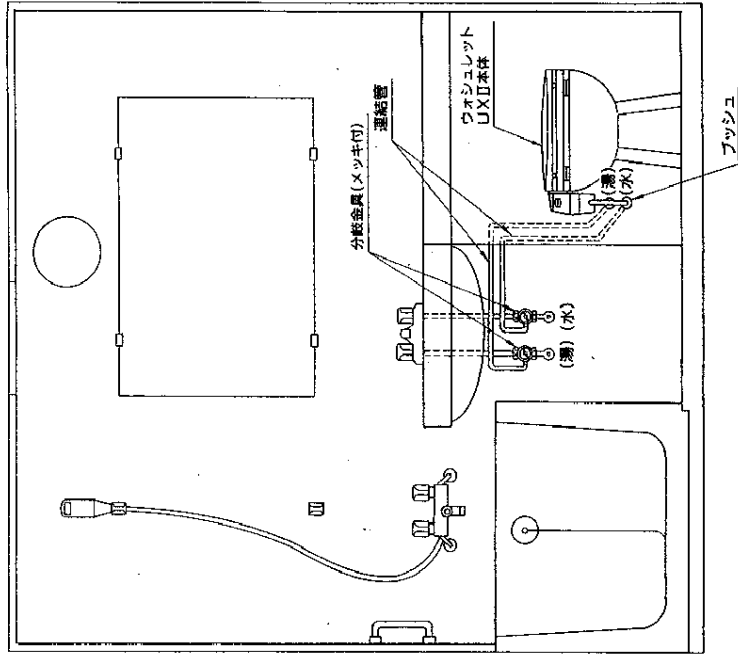
フルエプロン式の場合

- * 図はユニットバスRタイプの場合を示します。(Lタイプの場合は本図の逆になります。)
- * 図はウォシュレットUXIIタイプと なっています。
- * 図は標準セット施工例です。



ハーブエプロン式の場合 (旧仕様ERタイプ1216、1116もまむ)

- * 図はユニットバスRタイプの場合を示します。(Lタイプの場合は本図の逆になります。)
- * 図はウォシュレットUXIIタイプと なっています。
- * 図は標準セット施工例です。



取付方法 (便器の後より入りターがなし場合の取付)

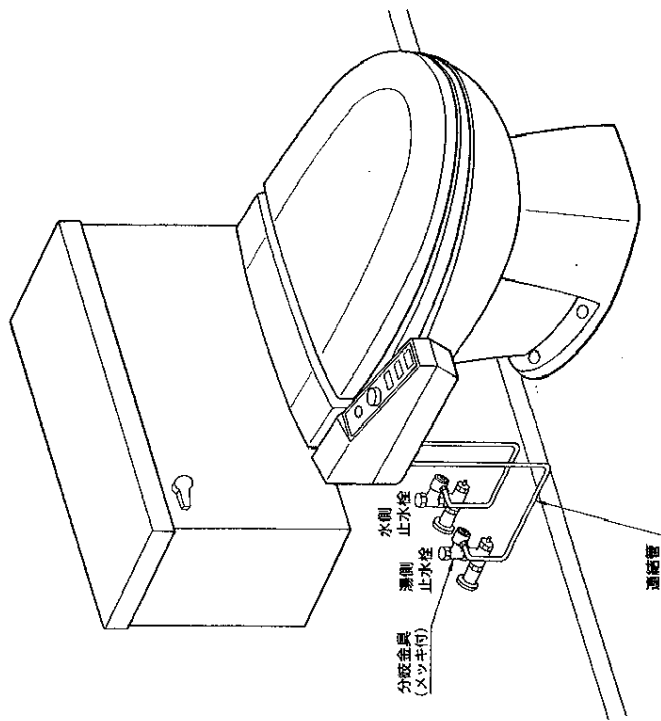
(Lタイプ入りの場合の取付)

5 取付方法

1. 便器の後ろにカウンターがない場合

1-1 新設現場の場合

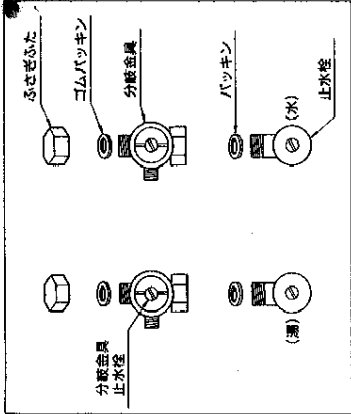
- * 図はユニットバスRタイプの場合を示します。(Lタイプの場合も同じです。)
- * 図はウォシュレットUXII Rタイプとなっています。
- * 図は標準セット施工例です。
- * EOG(V)1624、1620には、ウォシュレットUX IIの取付けはできません。



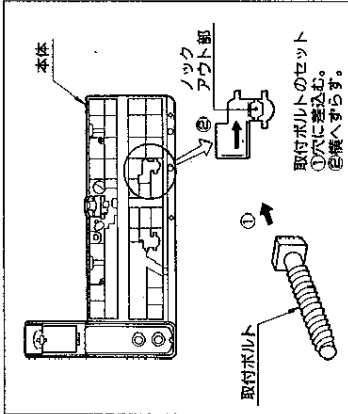
①分岐金具にゴムパッキンをセットし、ふたを
ふたを取付けてください。

分岐金具を止水栓に接続してください。

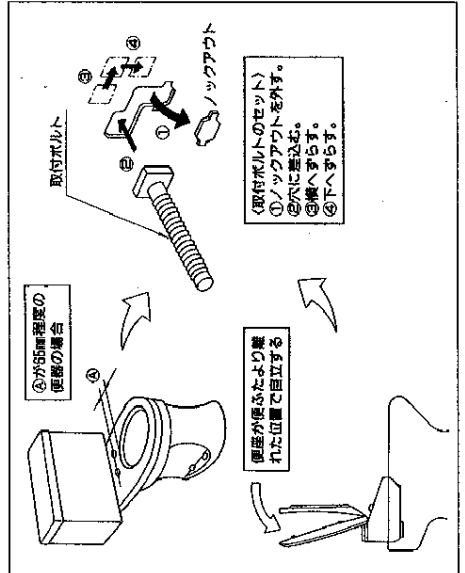
* 分岐金具を接続する際は、分岐金具止水栓が
前側に向いた状態にセットしてください。



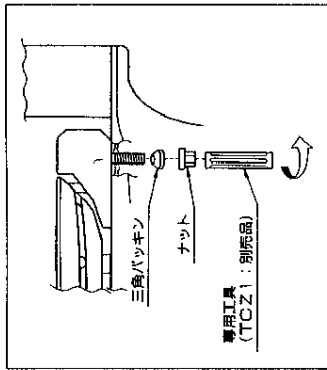
③ウォシュレット本体後面の穴に取付ボルトを
セットしてください。



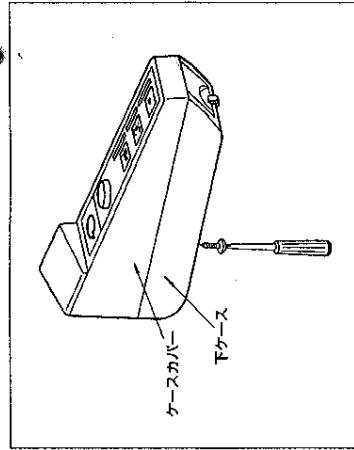
● 取付穴の寸法間隔が140mm
のもので、図④が65mm程
の便器の厚さの場合は、
便座が確実に自立しない
(便座が便座より離れた
位置で自立する) 場合は
「J」マークのついたノッ
クアウト部分を取外し、
取付ボルトの位置をロー
タンク側にずらしてセッ
トしてください。
このとき、取外したノック
アウトが本体に入らない
ように注意してください。



④ 便器の取付穴に取付ボルトを差込み、便器の下から三角パッキンを入れた後、ナットで仮締めしてください。本体を前後左右に動かして、便器との取合い位置を調整してから、ナットをウォシュレット本体がガタつかないように専用工具 (TCZ1: 別売品) で確実に締付けてください。



⑤ 下ケースをウォシュレット本体の操作部下側に、市販のネジドライバーを使って同梱してあるねじで固定してください。



⑥ ウォシュレット本体と分岐金具を連結管で接続してください。

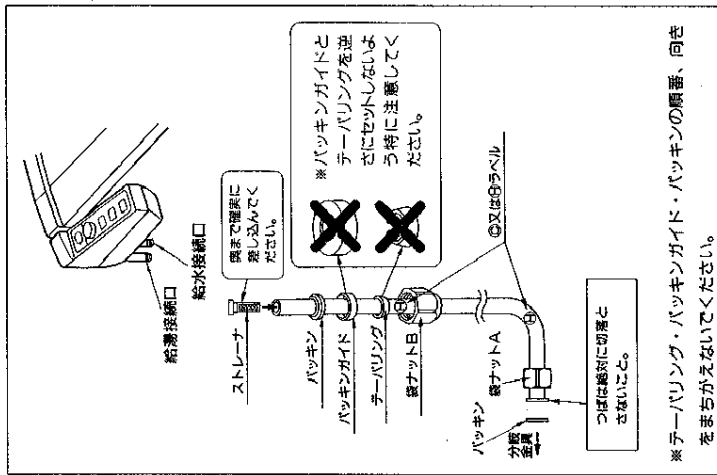
- 1) 連結管に袋ナットA・B、テーパリング、パッキンガイド、パッキンをあらかじめ通しておいてください。
- 2) 連結管を給水 (又は給湯) 接続口にストレーナを付けて差込んでください。
- 3) 袋ナットBを手で強くねじ込んだ後、さらに1回転以上ねじ込んでください。
- 4) 分岐金具と連結管を袋ナットAで確実に締付けてください。

※ 連結管の曲げは、あらかじめ針金などで確認し、それにそって曲げると容易に取付けられます。

※ 水側、湯側連結管は接触させないでください。

※ 連結管の切断は必ずパイプカッターを使用してください。切断後は、切断面のバリをきれいに取った後水洗いを行ない、粉を取除いてから接続してください。

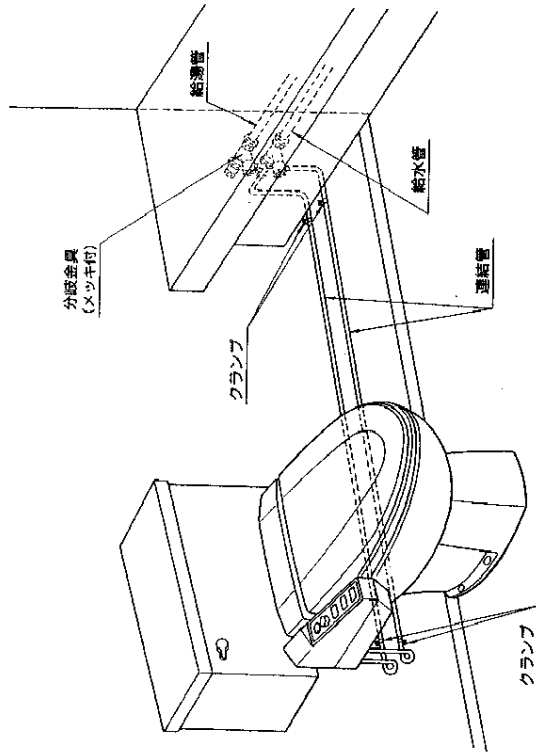
※ 連結管接続の際は、連結管には⑥又は⑦ラベル、接続口には⑧表示をしておりますので、給水・給湯の接続箇所をまちがえないように注意してください。



※ テーパリング・パッキンガイド・パッキンの順番、向きをまちがえないでください。

1-2 既設現場の場合

- * 図はユニットバスRタイプの場合を示します。(Lタイプの場合も同じです。)
- * 図はウォシュレットUXII Rタイプとなっています。
- * 図は標準セット施工例です。
- * EQG(V)1624、1620には、ウォシュレットUXIIの取付けはできません。



①洗面カウンター下のU形給水・給湯管を約50mmカットしてねじ(RC%)切りしてください。

②給水・給湯エルボと給水・給湯管の間に分岐金具とニップルを取付けてください。

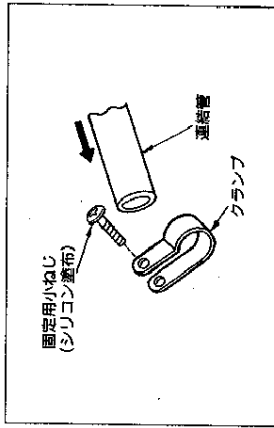
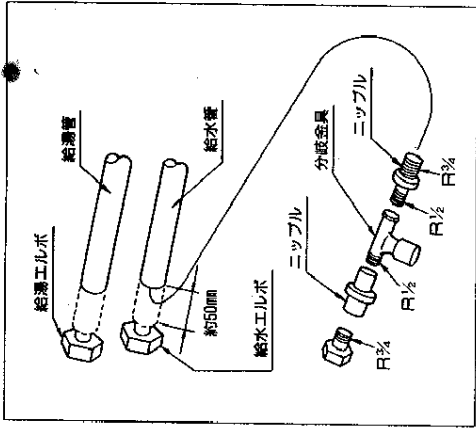
③セットされている硬座を外し、ウォシュレットを便器にセットしてください。セット要領は8ページ③項及び9ページ④項と同様です。

④ウォシュレット本体と分岐金具を連結管で接続してください。接続要領は9ページ⑤項と同様です。

⑤下ケースをウォシュレット本体の操作部下側にセットしてください。セット要領は10ページ⑥項と同様です。

⑥連結管をクランプを使って壁に固定してください。

* 固定用小ねじ(シリコン塗布)を固定してください。

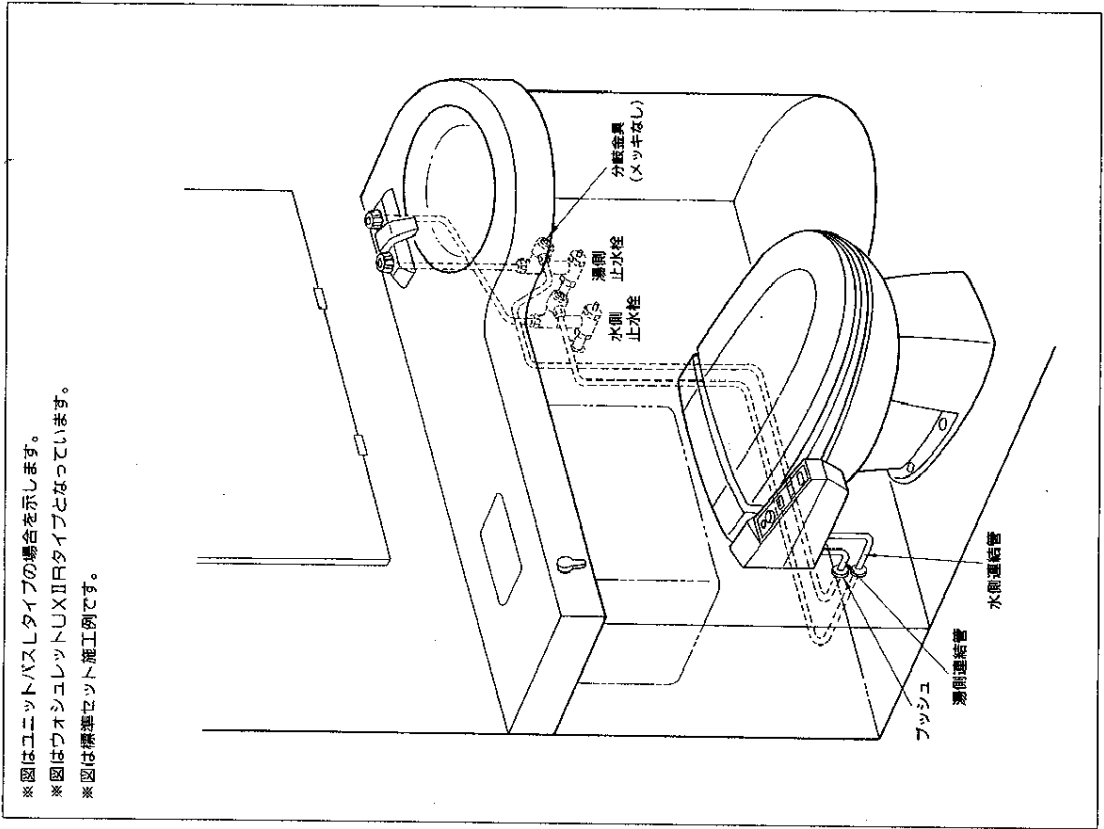


取付けは完了しましたので、試運転を行ってください。試運転の要領については25~27ページを参照ください。

2. フルエプロン式の場合

2-1 新設現場の場合

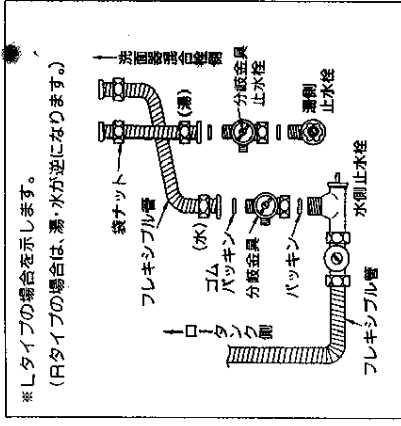
- * 図はユニットバスL型フルエプロン式の場合を示しています。
- * 図はウォシュレットLXII Rタイプとなっています。
- * 図は標準セット施工例です。



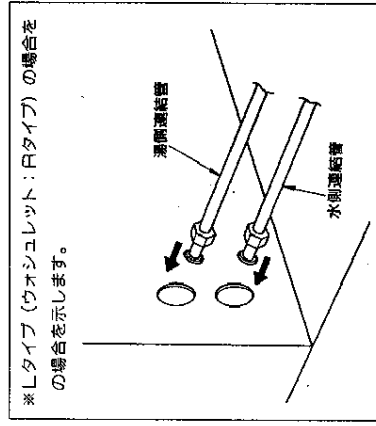
①洗面器及びロータンク側フレキシブル管と止水栓の間にウォシュレット用分岐金具を接続してください。

②分岐金具接続の際は、分岐金具止水栓が前側に向けた状態にセットしてください。

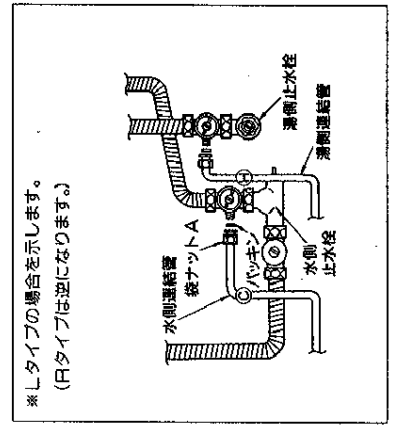
③カウンターエプロン取付後、接続管2本をエプロンの穴に通してください。



* Lタイプの場合は、湯・水が逆になります。
(Rタイプの場合は、湯・水が逆になります。)



* Lタイプ (ウォシュレット：Rタイプ) の場合の場合を示します。



* Lタイプの場合は逆になります。
(Rタイプの場合は逆になります。)

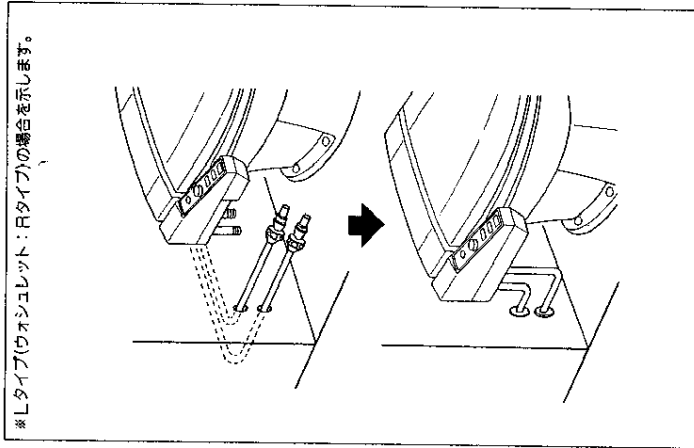
④接続管2本を分岐金具に接続してください。

* 接続管に、Hラベル表示しておりますので、配管接続の際は、給水・給湯の接続箇所をまちがえないように注意してください。

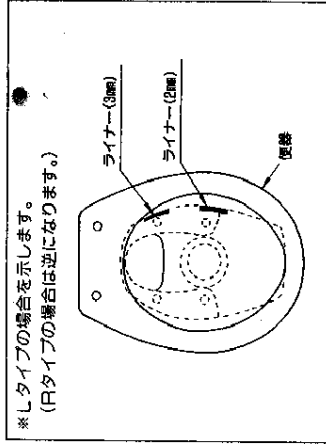
4 便器を取付後、ウォシュレット本体を便器にセットしてください。セット要領は8ページ③項及び9ページ④項と同様です。

⑤ 連結管2本をウォシュレット本体に接続してください。

* 連結管をウォシュレット本体に接続する際は9ページ⑥項と同様です。



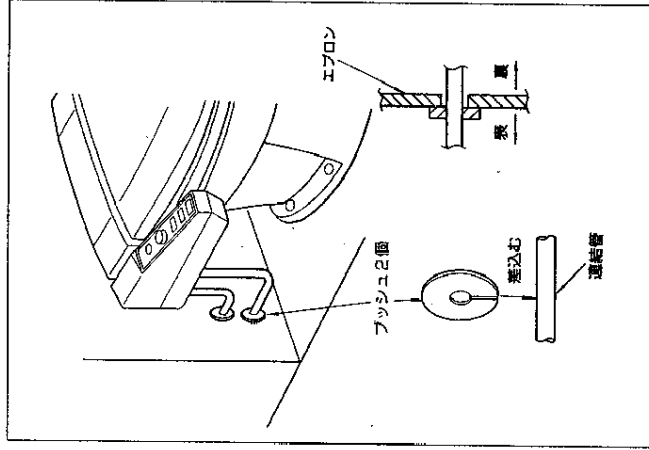
⑥ ERタイプ1216、1116及びEH1216、1116、1115のUBで便器をセットする場合は、右図の部分にライナーをはさんで、できるだけ便器を水平にして取付けてください。
ライナーは便器からはみ出さないようにしてください。
* ライナーはUB部材です。



⑦ 連結管にプッシュを差込み、プッシュをエプロンに固定してください。

* プッシュの固定はエプロン表面の汚れを取除いた後、裏のセパレート紙を剥がして張付けてください。

* プッシュの切れ目はできるだけ男えにくい位置にしてください。



⑧ 下ケースをウォシュレット本体の操作部下側にセットしてください。セット要領は10ページ⑩項と同様です。

取付けは完了しましたので、試運転を行ってください。試運転の要領については、25～27ページをご参照ください

2-2 既設現場の場合

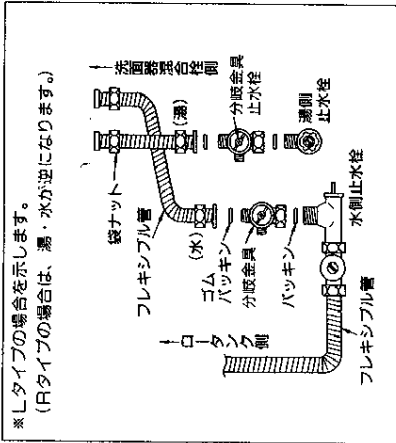
①点検口エプロンを取外したのち、分岐金具をセットしてください。

a) 洗面器止水栓を③ドライバーで開けてください。

b) 袋ナットをスパナで取外してください。

c) 分岐金具を図のように接続してください。

※分岐金具接続の際は、分岐金具止水栓が前側に向いた状態にセットしてください。



②φ20のホルソーでカウンターエプロンに穴2ヶ所をあけてください。

※穴径は全てφ20です。

※穴をあけたのち、切屑が残らないように掃除してください。

カウンターエプロン穴あけ位置

UBP17 EFG	UBP18 EFG	タイプ	A	
			Rタイプ	Lタイプ
1620D	(M)	R	632	171
1718(A)	(M)	L	171	632
1818(A)	(M)	L	570	—
1818D	(M)	L	68	—
1218D	(M)	R	500	123
1418M	(M)	L	—	500
1218M	(M)	L	123	—
1218	(M)	R	—	68
1118	(M)	R	—	—
1118	(M)	R	—	—
1118A	(M)	R	—	—
1118A	(M)	R	—	—
1118M	(M)	R	—	—
1118M	(M)	R	—	—
1118S	(M)	R	—	—
1118S	(M)	R	—	—
穴あけ位置				

※図はユニットバスLタイプの場合を示します。

※図はユニットバスRタイプの場合を示します。

③セットされている便座を取外し、ウォシュレットを便器にセットしてください。
セット要領は8ページ⑨項及び9ページ⑩項と同様です。

④連結管2本を14ページ⑫項の要領でエプロンの穴に通したのち、9ページ⑬項と同様にウォシュレット本体、分岐金具に接続してください。

⑤連結管に16ページ⑭項の要領でブッシュを差込み、エプロンに固定してください。

⑥下ゲースをウォシュレット本体の操作部下側にセットしてください。
セット要領は10ページ⑮項と同様です。

取付けは完了しましたので、試運転を行ってください。試運転の要領については、25～27ページを参照ください。

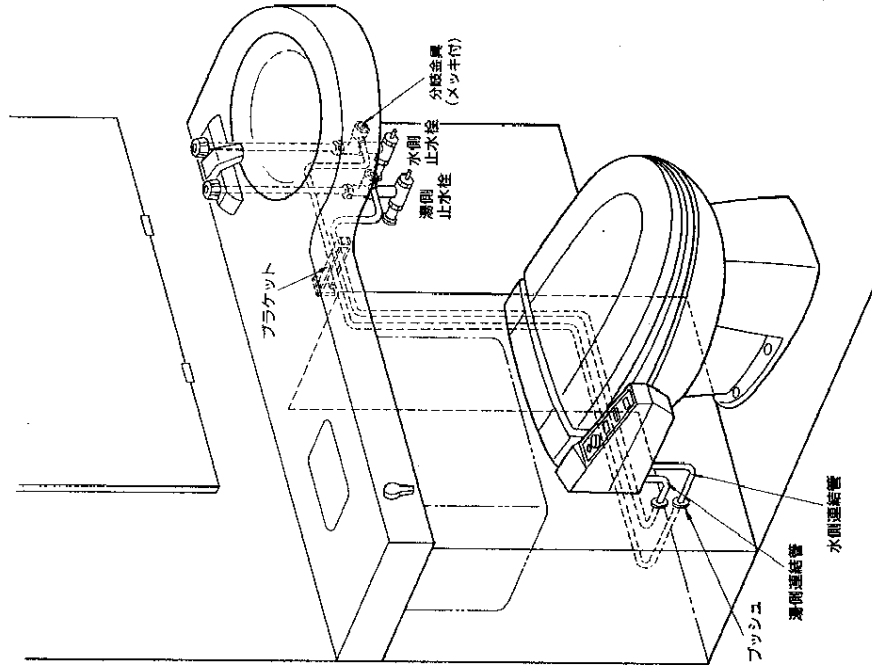
3. ハーアエブロン式の場合 (旧仕様ERタイプ1216、1116も含む)

3-1 新設現場の場合

* 図はユニットバス用タイプの場合を示します。(Rタイプの場合は本図の逆になります。)

* 図はウォッシュレットLIXILタイプとなっています。

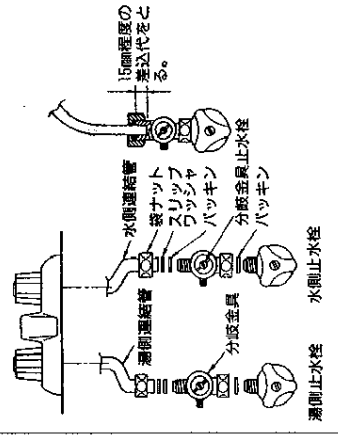
* 図は標準セット施工例です。



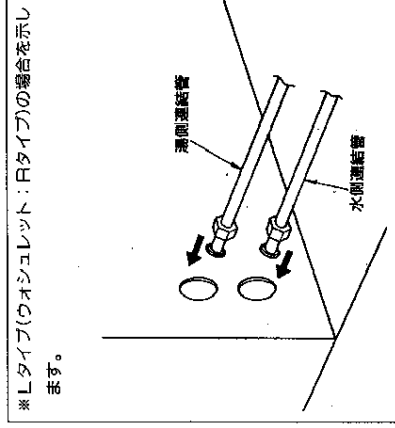
①ウォッシュレット用分水金具を止水栓本体に接続してください。

* 洗面器用給水配管、給湯配管は15mm程度の差込代を確保して切断したのち分水金具に接続してください。

* Lタイプの場合を示します。
(Rタイプの場合も同じです。)



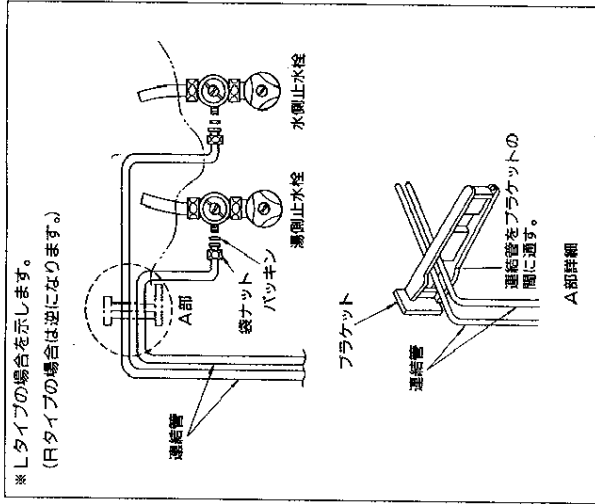
②カウンターエブロン取付後、連結管2本をエブロンの中に通ってください。



* Lタイプ(ウォッシュレット): Rタイプの場合を示します。

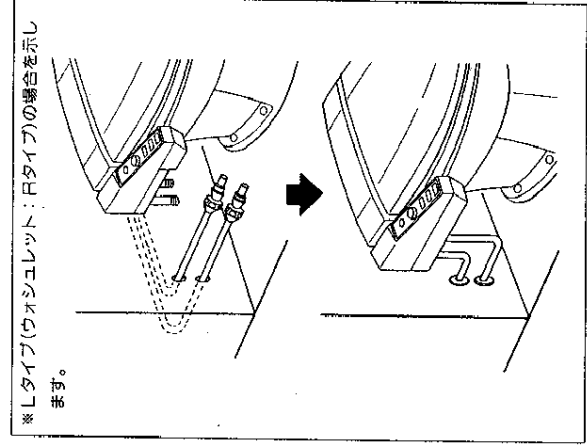
③連結管をカウンター固定用ブラケットの隙を通し、分岐金属に接続してください。

*連結管にR、Hラベル表示をしておりますので、連結管接続の際は、給水・給湯の接続箇所をまちがえないように注意してください。



④便器を取付後、ウォシュレット本体を便器にセットしてください。
セット要領は8ページ③項及び9ページ④項と同様です。

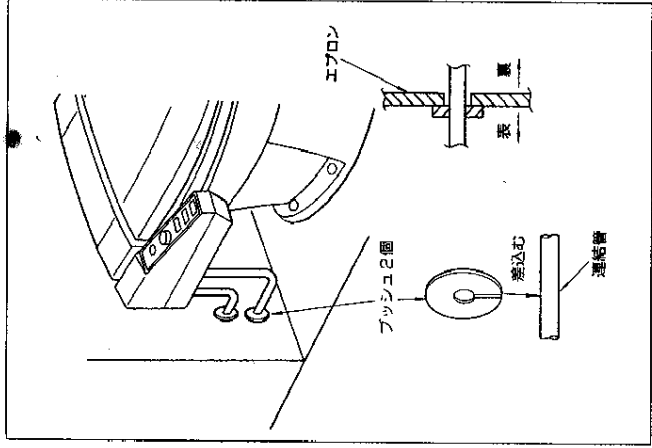
⑤連結管2本をウォシュレット本体に接続してください。
*連結管をウォシュレット本体に接続する際は8ページ⑤項と同様です。



⑥連結管にプッシュを差込み、プッシュをエプロンに固定してください。

*プッシュの固定はエプロン表面の汚れを取除いた後、裏のセパレート紙を剥がして張付けてください。

*プッシュの切れ目はできるだけ見えにくい位置にしてください。



⑦下ケースをウォシュレット本体の操作部下側にセットしてください。
セット要領は10ページ⑥項と同様です。

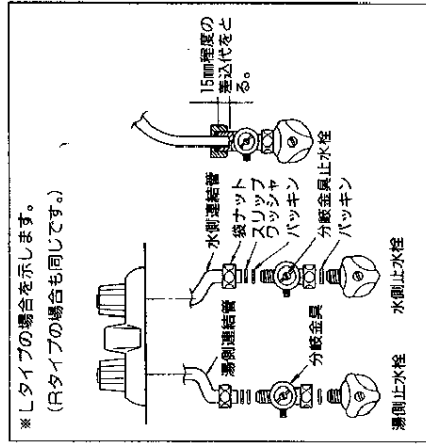
取付けは完了しましたので、試運転を行ってください。試運転の要領については、25～27ページを参照ください。

3-2 既設現場の場合

①ウォッシュレット用分岐金具を止水栓本体に接続してください。

- a) 洗面器側止水栓を開めてください。
- b) 袋ナットをスパナで取外してください。
- c) 分岐金具を図のように接続してください。

*分岐金具接続の際は、分岐金具止水栓が前側に向けた状態にセットしてください。



* Lタイプの場合は示します。
(Rタイプの場合も同じです。)

②φ20のホルソーでカウンターエプロンに穴2ヶ所をあけてください。

*穴径は全てφ20です。

*穴をあけたのち、切屑が残らないように掃除してください。

カウンターエプロン穴あけ位置

UBタイプ (M/P)	寸法 ウォッシュレット UBの番号		A
	Rタイプ	Lタイプ	
ERK1620	232	---	
ERZ1418	232	---	
ERZ1218	220	---	
ERZ1216	232	---	
ERZ1116 (M/P)	R	232	
	L	---	

③セットされている便座を取外し、ウォッシュレットを便器にセットしてください。
セット要領は8ページ⑨項及び9ページ④項と同様です。

④通篇2本を14ページ②項の要領でエプロンの穴に通したのち、9ページ⑤項と同様にウォッシュレット本体、分岐金具に接続してください。

⑤連結管に16ページ⑦項の要領でブッシュを差込み、エプロンに固定してください。

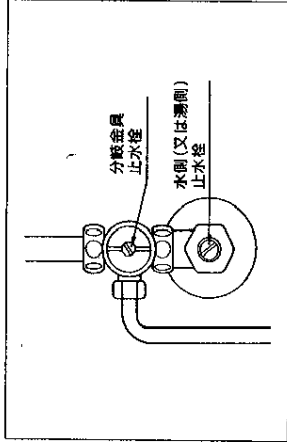
⑥下ケースをウォッシュレット本体の操作部下側にセットしてください。
セット要領は10ページ⑩項と同様です。

取付けは完了しましたので、試運転を行ってください。試運転の要領については、25~27ページを参照ください。

6 試運転

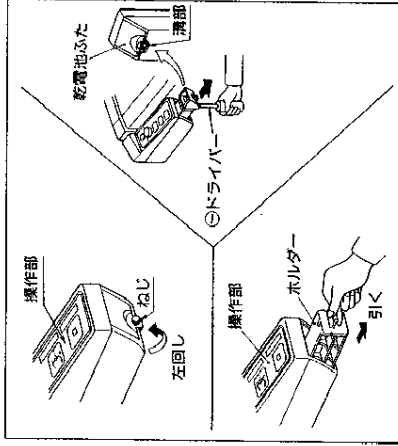
取付けが完了したら、次の方法で試運転を行ってください。

①洗面器の水側（又は湯側）止水栓及び分岐金具止水栓を開き、湯水を出して給湯温度が高いことを確認してください。



②本体操作部下側のねじをゆるめ、市販の㊸ドライバーク電池ふたの下側の溝部に当て、手前に引きながら乾電池ふたを取外してください。

本体内にホルダーが入っていますので、取っ手を手前に引き、ホルダーを取出してください。



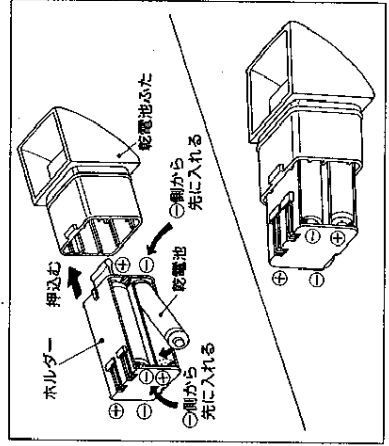
③ホルダーの㊹㊺表示の方向に合わせて、乾電池（単三形4個）を正しく入れたのち、乾電池ふたに押し込んでセットしてください。

※乾電池を入れる際は、必ず㊹側を先に入れてください。

※同梱している乾電池は動作確認用です。

※乾電池は単三形4個（アルカリ電池）をご使用ください。

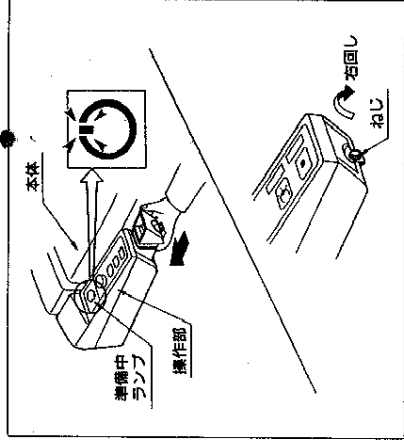
※乾電池の㊹㊺表示をよく確かめて入れてください。



④乾電池ふたを本体（操作部下側）に押し込んでセットし、ねじで固定してください。

※準備中ランプが1秒程度点灯（緑色）することを確認してください。

点灯しない時は、再度乾電池をセットし直してください。



⑤この便座には、荷重式満座スイッチが装備されていますので、便座後方を押し、満座スイッチを検知状態にしてから準備中ランプが消灯することを確認してください。

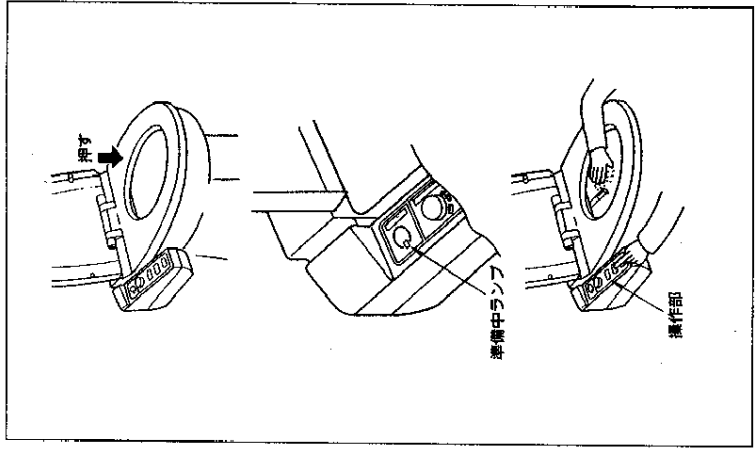
ランプ消灯後、操作部の

おしり洗浄 又は

ビデ洗浄 スイッチを押し、

洗浄ノズルから吐水状態が安定するまで吐水させてください。

吐水中は手のひらで受けるなど周囲に飛び散らないようにしてください。



※便座を押しした時、本体から便器の中へ水を排水する音が聞こえます。これは給湯配管内の冷水の処理のための音で異常ではありません。

※便座を押しした時、多少ガタツキがありますが、これは満座スイッチの構造によるもので異常ではありません。

※洗浄中に洗浄ノズルのわずかも排水されますが、機能上必要なもので異常ではありません。

MEMO

⑤適温の温水が出ることを確認してください。

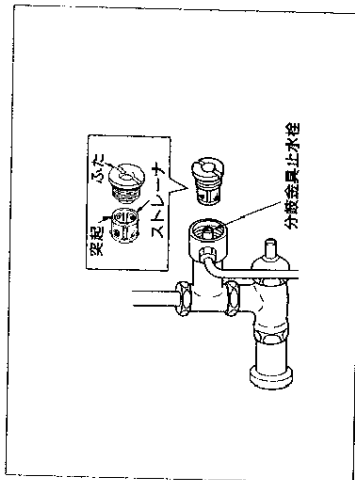
⑥ウォッシュレット本体及び接続部分からの水漏れがないことを確認してください。

⑦洗浄水の水流が水勢調節つまみを回して調節できることを確認してください。
(水勢調節つまみを右(+側)に回すと強くなり、左(-側)に回すと弱くなります。)

⑧操作部の止スイッチを押して、ノズル収納位置にもどしてください。

⑨便座・便ふたを開き、便座がカウンター洗面器の戸部分に当たらず確実に自立するか必ず確認してください。
便座が当たり自立しない場合はP8の要領で、ノックアウト部を取外し、取付ボルトをずらしして対応してください。

⑩ストレーナに水あかやゴミが詰まると適正な性能が得られなくなりますので、試運転後、分岐金具止水栓を閉じたのち、ふたを外し、必ずストレーナを掃除してください。



以上の確認作業が終わりましたら、ウォッシュレットの試運転は完了です。